

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号

特許第4444561号
(P4444561)

(45) 発行日 平成22年3月31日 (2010. 3. 31)

(24) 登録日 平成22年1月22日 (2010. 1. 22)

(51) Int. Cl.

A 6 1 M 1/06 (2006. 01)

F 1

A 6 1 M 1/06

請求項の数 6 (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願2002-522962 (P2002-522962)	(73) 特許権者	598023137
(86) (22) 出願日	平成13年8月28日 (2001. 8. 28)		メデラ・アーゲー
(65) 公表番号	特表2004-507325 (P2004-507325A)		Medela AG
(43) 公表日	平成16年3月11日 (2004. 3. 11)		スイス国、ツェーハー 6340 パール
(86) 国際出願番号	PCT/CH2001/000523		、レーティッヒシュトラッセ、4 ビー
(87) 国際公開番号	W02002/017993	(74) 代理人	100086759
(87) 国際公開日	平成14年3月7日 (2002. 3. 7)		弁理士 渡辺 喜平
審査請求日	平成20年3月7日 (2008. 3. 7)	(74) 代理人	100109128
(31) 優先権主張番号	00118599.0		弁理士 岡野 功
(32) 優先日	平成12年8月28日 (2000. 8. 28)	(74) 代理人	100112977
(33) 優先権主張国	欧州特許庁 (EP)		弁理士 田中 有子
		(74) 代理人	100100608
			弁理士 森島 なるみ
		(74) 代理人	100141944
			弁理士 佐藤 猛

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 胸部カバーインサート

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

女性の胸部に適用するブレストポンプ用胸部カバーインサートであって、前記胸部カバーインサートは枠体を有し、同枠体は後方における大開口部と前方における小開口部を有する実質的に円錐台形状を有するとともに枠体の壁を有し、前記枠体の壁は内側壁をもつ二重壁として形成され、少なくとも前記内側壁は弾性状に変形可能であり、前記二重壁は内部に閉じられたスペースを形成し、かつ、前記スペースには変形可能な媒体が充填されてなることを特徴とする胸部カバーインサート。

【請求項 2】

前記スペースに充填される媒体は、気体、例えば空気、又は好ましくは稠密な流動体、又はゲル、又はシリコンでなることを特徴とする請求項 1 記載の胸部カバーインサート。

【請求項 3】

前記枠体の小開口部の半径方向内側の周囲に隆起部が設けられてなることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の胸部カバーインサート。

【請求項 4】

前記隆起部は、好ましくは充填媒体、例えばシリコン、が充填された変形可能なスペースとして形成されてなることを特徴とする請求項 3 記載の胸部カバーインサート。

【請求項 5】

前記枠体の弾性状に変形可能な内側壁は、前記大開口部の縁辺部と前記小開口部における隆起部の内側の縁辺部との間に延在してなることを特徴とする請求項 3 又は 4 記載の胸部

10

20

カバーインサート。

【請求項 6】

前記胸部カバーインサートの内側に弾性の補助インサート（１３）が設けられ、かつ、前記補助インサート（１３）は前記枠体に着脱可能に又は固定して取付けられてなることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の胸部カバーインサート。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、女性の胸部に適用するブレストポンプ用胸部カバーインサートに関する。この胸部カバーインサートは、後方における大開口部と前方における小開口部を有する実質的に円錐台形状の枠体で形成される。

10

【０００２】

上記のような胸部カバーインサートは近時は一般に知られており、種々の胸部のサイズにカバーを適合させるために及び母乳の出を改善させる刺激効果を与えるために使用される。

【０００３】

本発明は、インサートのユニークな構成ないしは構造により胸部カバーインサートをより最適化し、その適用をより快適にすることを課題とする。

【０００４】

この課題は、上述の胸部カバーインサートにおいて、本発明により、特許請求の範囲における請求項 1 の特徴部に記載された特徴を付与することにより達成される。

20

【０００５】

本発明により実現される効果及び適用時の快適性は、従来のものに比べて大幅に向上する。

【０００６】

本発明による実施の形態は、それぞれの従属請求項に定義されている。

【０００７】

以下において、本発明を添付の図を参照してより詳細に説明する。

【０００８】

図 1 は、本発明によるインサートの 1 つの実施の形態を示す縦断面図であり、ここにおいて、円錐台形状の胸部カバーインサートは枠体 1（プラスチック又はゴム状弾性材で作られる）で形成される。枠体 1 は、後方における大開口部 2 と前方における小開口部 3 を有する。小開口部 3 の半径方向内側の周囲には、隆起部（稠密部）4 が設けられている。この隆起部 4 は女性の胸部に（刺激効果のために）負荷を与えるべく作用する。隆起部 4 の内側の縁辺部と大開口部 2 の縁辺部 5 との間には、弾性の内側壁 6（例えば、PU シート）が延在し、この内側壁 6 と枠体 1 の外側壁の二重壁によりスペース 7 が形成されている。スペース 7 には、変形可能な媒体（気体、例えば空気；稠密な流動体；ゲル；シリコーン）が充填されている。この手段は、適用時の快適性を実質的に向上させることに寄与する。

30

【０００９】

図 2 は、本発明によるインサートの別の実施の形態を示しており、ここにおいては、図 1 の実施の形態に比べて、枠体 8 が若干変形されている。更に、この枠体 8 は、弾性材で円錐台形に作られた 1 つの中空形状体として形成されている。小開口部 10 における隆起部 9 とスペース 11 内の充填は、図 1 の場合と同様に実施される。

40

【００１０】

図 3 は、本発明によるインサートの更に別の実施の形態を示している。図 3 において、胸部カバーインサート 12 は、図 1 又は図 2 に示された実施の形態と実質的に同じ構成である一方、このインサート 12 においては、枠体の小開口部に設けられた隆起部（4 又は 9）の代りに、弾性材（シリコーンシート）で作られた補助インサート 13 が設けられている。この補助インサート 13 も同様に、胸部における中心位置を調整し、かつ、刺激効果

50

を付与するべく作用する。補助インサート 13 により、乳頭の最適な位置合せを可能とし、また、胸部カバーを取外した後の母乳の不都合な落下を回避することを可能とする（即ち、補助インサート 13 と枠体との間のスペースに母乳が補集される）。補助インサート 13 は枠体の内側に着脱可能に又は固定して取付けられる。

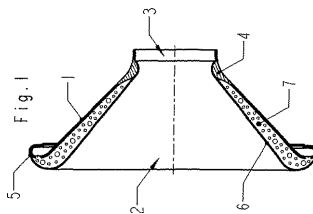
【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明による胸部カバーインサートの 1 つの実施の形態を示す縦断面図。

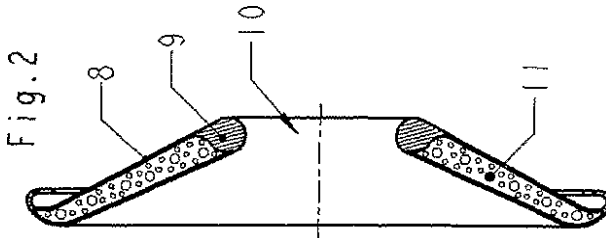
【図 2】 本発明による胸部カバーインサートの別の実施の形態を示す縦断面図。

【図 3】 本発明による胸部カバーインサートの更に別の実施の形態を示す縦断面図。

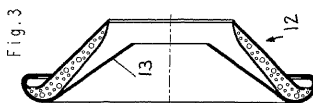
【図 1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

(74)代理人 100142099

弁理士 中山 真一

(74)代理人 100152803

弁理士 今井 哲也

(74)代理人 100154184

弁理士 生富 成一

(72)発明者 アンディー・グレーター

スイス国、ツェーハー 6 3 1 2 シュタインハウゼン、グンテンビュール、8

(72)発明者 ブライアン・シルバー

アメリカ合衆国、イリノイ州 6 0 0 1 3、ケリー、アン ストリート、3 4 0

審査官 川端 修

(56)参考文献 実開昭62-001634 (JP, U)

実公昭38-028586 (JP, Y1)

米国特許第05885246 (US, A)

米国特許第05050595 (US, A)

特開昭53-120881 (JP, A)

特開昭62-053668 (JP, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A61M 1/06